

## プログラム

第 1 日 6 月 19 日(金)

9:25 開会 実行委員会委員長 堀江 修一

9:30～10:30 一般講演 I 座長 竹澤俊明 (農業生物資源研)

I-1 ヒト白血病細胞株の分化誘導に対するスピルリナとサイトカインの併用効果について  
○石井恭子、林 修 (女子栄養大・免疫検査学)

I-2 マウスのアディポネクチン・シグナルに及ぼす魚油摂取の影響  
○樋口智之<sup>1</sup>、丸谷幸子<sup>1</sup>、益谷文子<sup>1</sup>、白井展也<sup>2</sup>、西塔正孝<sup>1</sup>、鈴木平光<sup>1</sup>、  
香川靖雄<sup>1</sup> (女子栄養大<sup>1</sup>、(独)食品総合研究所<sup>2</sup>)

I-3 カルシウム吸収を促進する食餌因子とその分子機構の解析  
○福島亜紀子、佐久間慶子 (女子栄養大・分子栄養学)

I-4 梅エキス中に含まれるトリテルペンの TNF- $\alpha$  誘発 E-selectin 発現抑制作用  
(第2報)  
○高田公彦<sup>1</sup>、小林麻里子<sup>1</sup>、中根 孝久<sup>2</sup>、増田 和夫<sup>2</sup>  
(昭和薬大・分子生体制御学<sup>1</sup>、同・天然物化学<sup>2</sup>)

10:30～10:40 休憩

10:40～11:40 一般講演 I 座長 阿刀田英子 (明薬大)

I-5 細胞表面 nucleolin の lipopolysaccharide に対する結合性及び炎症性サイトカイン産生  
への関与

○三木雄一、小山大雅、菅原翔、平野和也、別府正敏 (東薬大・薬)

I-6 黄色ブドウ球菌スーパー抗原様タンパク質 SSL5による好中球マトリックスメタロプロテイ  
ナーゼの阻害

○伊藤佐生智<sup>1</sup>、濱田恵里<sup>1</sup>、鴨志田剛<sup>1</sup>、竹下佳奈<sup>2</sup>、瀧井猛将<sup>1</sup>、小野寄菊夫<sup>1</sup>、  
奥輝明<sup>2</sup>、辻 勉<sup>2</sup>

(名市大院薬学研究科・生体防御機能学<sup>1</sup>、星薬大・微生物学<sup>2</sup>)

- I-7 脳虚血における可溶性 Fas リガンドの発現と神経細胞死  
○塩田倫史、福永浩司（東北大学大学院薬学研究科・薬理学分野）
- I-8 組織再生に有用なコラーゲンヒトリゲルを用いた新しい医薬学研究：肝虚血・再灌流後の肝障害抑制への応用  
○竹澤俊明<sup>1</sup>、芳賀早苗<sup>2</sup>、尾崎倫孝<sup>2</sup>（(独)農業生物資源研究所・遺伝子組換え家畜研究センター<sup>1</sup>、北大院医学研究科・分子制御外科学<sup>2</sup>）

11:40～13:00 昼食

13:00～14:10 院生講演 座長 早川磨紀男(東薬大)、増田 豊(昭和薬大)

- G-1 癌細胞の凝集塊形成を誘導する cathepsin G の癌細胞への結合性の検討  
○一杉剛央、山崎正利、油井聡（帝京大・薬・医療生命化学）
- G-2 がん細胞との共培養によるヒト単球の機能変化  
～マトリックスメタロプロテイナーゼの産生誘導～  
○鴨志田 剛、松田 彩花、辻 勉（星薬大・微生物学）
- G-3 ニホンマムシ毒由来 L-アミノ酸酸化酵素の抗凝固活性の再評価  
○藤澤大輔<sup>1</sup>、山崎泰男<sup>1,2</sup>、長浜正巳<sup>1</sup>、森田隆司<sup>1,3</sup>  
(明治薬大・生体分子学<sup>1</sup>、Umea University<sup>2</sup>、順大・医 客員教授<sup>3</sup>)
- G-4 変異型アンチトロンビンにより形成される Russell body の細胞内動態 と細胞応答  
○軽部 篤、大久保純、今中常雄（富山大院医学薬学研究部・分子細胞機能学）
- G-5 血小板第 4 因子遺伝子の発現制御における-51 ETS サイトの役割  
○登 治謙<sup>1</sup>、渡邊 美穂<sup>2</sup>、米倉 正哲<sup>1</sup>、岡田 欣晃<sup>1</sup>、土井 健史<sup>1</sup>  
(大阪大院薬学研究科<sup>1</sup>、大阪大院生命機能研究科<sup>2</sup>)
- G-6 脂肪酸結合蛋白質による脳内ドパミン神経活動の調節  
○山本由似<sup>1</sup>、塩田倫史<sup>1</sup>、福永浩司<sup>1</sup>、大和田祐二<sup>2</sup>  
(東北大学薬学研究科薬理学<sup>1</sup>、山口大学医学系研究科<sup>2</sup>)
- G-7 食餌性コレステロールによる apoE-KO マウスのトリグリセリド代謝変動解析  
○赤木 和貴、長岡 彩香、小浜 孝士、加藤 里奈、板部 洋之  
(昭和大・薬・生物化学)

14:10～14:20 休憩

14:20～15:20 特別講演 1 座長 辻 勉 (星薬大)

SL-1 生活習慣病の Pharmaco-Nutrigenomics

香川 靖雄 (女子栄養大学 副学長)

15:20～15:30 休憩

15:30～17:30 シンポジウム 1

血液成分の改善から見たメタボリックシンドローム対策

座長 田中 明 (女子栄養大)、合田敏尚 (静岡県立大)

S1-1 栄養学から見たメタボリックシンドロームの対策と治療

「レムナントリポ蛋白とインスリン抵抗性に注目して」

田中 明 (女子栄養大学 教授)

S1-2 血漿リポタンパク質から見た脂質代謝調節と疾患

板部 洋之 (昭和大学 教授)

S1-3 葉酸代謝の遺伝子多型から見た血管病変と認知症の予防

平岡 真実 (女子栄養大学 助教)

S1-4 血球細胞の遺伝子発現から見たメタボリックシンドロームの病態

合田 敏尚 (静岡県立大学 教授)

17:40～ 懇親会 (長井記念ホール前ロビー)

大学院生優秀発表賞 表彰

第 2 日 6 月 20 日(土)

9:30~10:45 一般講演Ⅱ 座長 岡 沙織 (帝京大)

- Ⅱ-1 高血糖マウス各臓器での血液凝固を制御する因子の発現変化  
三浦将人、大藏直樹、松田重三、○厚味巖一 (帝京大・薬)
- Ⅱ-2 抗凝固作用を有するへび毒C型レクチン様ドメインヘテロダイマー「IX/X-bp」の遺伝子構造  
○阿刀田英子 (明治薬大・基礎生物)
- Ⅱ-3 ミトコンドリア特異的膜脂質カルジオリピン含量変動による細胞死制御の解析  
○唐橋美奈子<sup>1</sup>、幸村知子<sup>1</sup>、川崎清史<sup>2</sup>、西島正弘<sup>3</sup>、中川靖一<sup>1</sup>  
(北里大・薬<sup>1</sup>、同志社女子大・薬<sup>2</sup>、国立医薬品食品衛生研<sup>3</sup>)
- Ⅱ-4 ヒト血漿型 PAF-アセチルヒドロラーゼの遺伝的欠損により血漿 LDL 中に蓄積する酸化ホスファチジルコリン分子種  
○唐澤健<sup>1</sup>、原田史子<sup>1</sup>、佐藤典子<sup>1</sup>、横山和明<sup>1</sup>、井上圭三<sup>1</sup>、中西広樹<sup>2</sup>、田口良<sup>2</sup>  
(帝京大・薬<sup>1</sup>、東大・院医<sup>2</sup>)
- Ⅱ-5 細胞質ホスホリパーゼ A2 $\gamma$  によるリゾホスホリパーゼ/トランスアシレーション反応  
○山下 純、田中 健、古賀裕基、熊澤司紗、鈴木尚孝、鎌田 怜、杉浦隆之  
(帝京大・薬)

10:45~10:55 休憩

10:55~11:55 一般講演Ⅱ 座長 厚味巖一 (帝京大)

- Ⅱ-6 G タンパク質共役型受容体 GPR55 発現細胞のリゾホスファチジルイノシトール(LPI)による Rho を介した活性化  
○岡 沙織、木村真二、太田 遼、山下 純、杉浦隆之 (帝京大・薬)
- Ⅱ-7 Robo4 プロモーターに存在する GABP 結合配列の in vivo における重要性  
○岡田欣晃<sup>1</sup>、金恩京<sup>2</sup>、北山美絵<sup>1</sup>、舟橋伸昭<sup>1</sup>、矢野喜一郎<sup>2</sup>、William Aird<sup>2</sup>、土井健史 (大阪大院薬学研究科<sup>1</sup>、ハーバード大医学部<sup>2</sup>)

II-8 Hepatocyte growth factor による細胞増殖制御への核内受容体 farnesoid X receptor  
の関与

○藤野智史<sup>1</sup>、円子颯子<sup>2</sup>、大竹洋輔<sup>2</sup>、竹内愛理<sup>1</sup>、樫村 諒<sup>1</sup>、菊川清見<sup>1</sup>、  
大久保恭仁<sup>2</sup>、早川磨紀男<sup>1</sup> (東薬大・薬・衛生化学<sup>1</sup>、東北薬大・放射薬品学<sup>2</sup>)

II-9 CLOCK/BMAL1 is involved in lipid metabolism via transactivation of the peroxisome  
proliferator-activated receptor (PPAR) response element

○篠田雄一、井上郁夫、片山茂裕  
(鎌ヶ谷総合病院・総合診療・リハビリ科、埼玉大・生化学)

11:55～13:05 昼食

13:05～14:05 特別講演 II 座長 堀江修一 (女子栄養大)

SL-2 薬物・栄養投与の時間治療的戦略 ～体内時計の分子機構を基盤として～  
大戸 茂弘 (九州大学 教授)

14:05～14:15 休憩

14:15～16:15 シンポジウム 2

血液・血管系疾患と時計遺伝子

座長 柴田重信(早稲田大)、江本憲昭(神戸薬大)

S2-1 時計遺伝子と食餌のリズム

柴田 重信 (早稲田大学 教授)

S2-2 時計遺伝子 Bmal1とメタボリックシンドローム

榛葉 繁紀 (日本大学 准教授)

S2-3 時計遺伝子による糖・脂質代謝調節と血栓症

大石 勝隆 (産業技術総合研究所 グループ長)

S2-4 時計遺伝子と循環器疾患

江本 憲昭 (神戸薬科大学 教授)

16:15～16:25 休憩

16:25～16:55 **イブニングレクチャー** 座長 石井秀美（昭和薬大）

**臨床医が語る ～薬害エイズ事件を省みて～「薬害エイズの反省」**

風間 睦美（滝野川病院長、帝京大学名誉教授）

16:55 **閉会** 実行委員会委員長 堀江修一

**挨拶** 次回実行委員長 辻 勉（星薬科大学）